

成果報告書

湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」

総合政策学部 3年 糠沢智子

1. 学会名称あるいは活動の名称

第49回（2010年度）JACET 全国大会要綱

大会テーマ：明日の学習者、明日の講師—大学英語教育における 学習者と教師の自立的成長

開催地：宮城大学（宮城県仙台市）

2. 目的

文化背景の異なる人たちと接する機会が飛躍的に増大してきた現代社会では、国際的共通語として英語はもっとも中心的な役割を果たしている。昨今、日本人学生の英語力が他国の学生に比べて著しく低いというのが問題となっており、どのようにして学習者の自立的成長を促せるかは重要な課題である。大学英語教育学会への参加を通してこの分野でどのような最新研究がおこなわれているのかを知り、そのから示唆を得るといった目的のもと学会への参加が決まった。

3. 参加者

慶應義塾大学環境情報学部 中浜優子教授

慶應義塾大学環境情報学部 訪問教師 David P. O'Donnel

総合政策学部 3年 林紘子

総合政策学部 3年 糠沢智子

環境情報学部 3年 高浦玲子

4. 開催概要

明日の学習者、明日の講師—大学英語教育における学習者と教師の自立的成長というテーマのもと大会は、基調講演、招待講演、研究発表、実践報告、事例研究、シンポジウム、ワークショップ等多彩なプログラムが組まれていた。日程は、9月7、8、9日の3日間に渡っており、そのうち中浜優子教授と、David P. O'Donnel先生の発表のある8日と、その他の発表を見て回るために9日に参加した。発表を見ることで、このような学会での発表の仕方や、研究の発表がどのようなものなのかを学ぶことが出来た。また、発表者に対して直接質問をし、話をすることを通して学生は研究への意欲を向上することが出来た。

5. 今後の展望

学期初めに、今回見た発表の批評と説明を学会に参加していない学生に行い、知識を共

有する。批評を行う中で見習うべき点や問題点を指摘し、今後の研究へいかしていき、最終的に学会への参加出来るような研究を行っていくことを目指す。